



## 5月の活動報告

●は本会主催

●監査会 5/13 (蚕糸会館)

●正副会長会議 5/13 (蚕糸会館)

【出席者】正副会長(4名)、事務局

【議事】

- 1 令和3年度第1回理事会の開催について
- 2 事務所の移転について
- 3 千葉県農業協会の活動内容、会費及び諸規程の検討会の開催について
- 4 3号会員・養鶏部会賛助会員の情報伝達について
- 5 その他

○水田農業における需要に応じた生産・販売推進に関する意見交換会(千葉県) 5/25 (WEB)

農水省が主催した標記会議に古谷稲作部会長とともに出席しました。

●第1回理事会 5/25 (蚕糸会館、WEB)

- 1 会員の入退会について
- 2 令和2年度事業報告について
- 3 令和2年度決算報告について
- 4 令和2年度公益目的支出計画実施報告書について
- 5 令和3年度定時総会開催について
- 6 事務所の移転について
- 7 その他

## 6月のスケジュール

○千葉県歯科医師会のマリスタジアム冠試合における協会アピール活動

【期日】6月10日(木) 午後6時～

●令和3年度定時総会

【期日】6月29日(火) 午後1時30分～

【場所】千葉県農業協会事務所およびWeb会議

## 情報提供

○飼料用米への作付転換に取り組みましょう！

コロナ禍の影響により主食用米の消費は減退(特に外食需要)しており、在庫の過剰に直面している。需給と価格の安定のためには、令和3年産について、全国で6.7万ha(生産量換算36万t)の作付転換が必要とされている。

各県の作付意向(4月末時点)を基に全国の主食

用米の作付面積を試算すると、約3.7万haの減少見込であり、作付転換が必要な6.7万haの5割強にしか達していない。

米卸は、3年産については元年比較で調達量を3割抑える意向を示しているとのこと。また、2年産の4月の相対取引価格は元年産比較で全国平均856円の減額となっているが、千葉県産のコシヒカリ1,609円、ふさこがね1,579円、ふさおとめ1,204円の減額と厳しい状況であり、3年産の米価の暴落が懸念されている。

県では、生産者のさらなる理解を求め、6月末の営農計画書の提出期限までに、より一層飼料用米への作付転換をお願いするとのことである。

稲作部会長は国に対し、転換を進めている大規模生産者にもっとメリットが出るように、また、中小規模の生産者への周知の徹底を要望した。

## ○講演会【Zoom】「みんなで考える観光農園の原点」

農のふれあい交流経営者協会(事務局:全国農業会議所)から案内がありましたのでお知らせいたします(熊本県観光農園連絡協議会との共催)。

若手育成に力を入れる(有)木之内農園の木ノ内均 代表取締役会長より、いままでの当たり前が変わったいま、あらためて「観光」や「農業」とはなにか問いなおすことを趣旨にお話しいただきます。

日 程: 6月11日(金) 15:00～17:00

申込方法: Google フォームに入力

締 切: 6月10日(木) まで



申込フォーム

## 事務局よりお知らせ

6月1日(火)より、事務局が移転します。

詳細につきましては、別紙をご確認くださいませようお願いいたします。

令和3年5月28日発行

【発行元】一般社団法人千葉県農業協会

〒260-0013 千葉市中央区中央4-10-12

TEL: 043(222)9400 FAX: 043(202)3105